

6、27、1

掌記

一 魚鳥座建立

文政元寅十一月十五日開店

同年より慶応二寅年迄四十九年ニ成

一 御仕法替

文政十亥六月十八日より

同年より四十年

一 歎願袖控

廿二年已前已十二月差出

再願総泉寺より秋山を以差出貫

三度目

十五年已前子閏二月十四日

谷森助六を以

日置御両所様へ可差出候得共

御留主中ニ而

十五日ニ出ス

伊木様

澤様

御三軒へハ十四日

中井様

ノ

四度目

十四年已前丑十月後藤牧左衛門を以

御元ノ 澤様

御運上方 中井様

ノ 袖控二冊ニ而相済

右者沢公へ差出分御奉行御月番伊木公へ

御廻ニ相成候得ハ伊公より御老役へ御持出ニ被成候

中井氏へ差出分御元ノへ御持出ニ相成候得者

御元ノより御根取へ御差出候而可然旨右之趣

伊木公御差図ニ而差出候事

6、27、2

掌記

一 魚鳥座建立

文政願寅十一月十五日開店

同年より慶應二寅年迄四十九年に成る

一 御仕法替

文政十亥六月十八日より右年まで

(御直作舞となる)

四十年になる

一 歎願袖控

第一回目

廿二年已前已十二月差出

(弘化二年十二月)

第二回目 同年総泉寺より秋山を以差出して貰

(再願)

第三回目 十五年前(嘉永五年子閏二月十四日)

谷森助六を以日○御両所様へ

伊木様

沢様

中井様

第四回目 十四年前(嘉永六丑十月)

後藤数右衛門を以

御元締 澤様

御運上方 中井様

ベ 袖控二冊にて相済あいすます

右は澤公差出より御奉行御同番伊木公

へ御廻し相成り伊公より御老役へ御持出で

候儀中井公へ差出てより御元締御「空白」

御元締より御「空白」 右の趣伊木公

の御指図に相成る事

(慶應二寅年 勝廣記す 同文三通あり)